

2014年10月8日

日本ユニシス エンタープライズサーバー「Unisys ClearPath® Server」の新機種を販売開始 ～ 大型機 CS6300L シリーズ、中型機 CS4300L シリーズ ～

日本ユニシス株式会社（本社：東京都江東区、社長：黒川 茂、以下 日本ユニシス）は、米国ユニシスのエンタープライズサーバー「Unisys ClearPath Server」の大型機「CS6300L シリーズ」と中型機「CS4300L シリーズ」を本日から販売開始します。

「CS6300L シリーズ」は、MCP^(注1)環境で稼働する大型機「CS6200L シリーズ」の後継機で、インテル® Xeon® 10 コア・プロセッサ^(注2)を搭載しています。処理性能は前機種「CS6200L シリーズ」と比較して単一プロセッサ当たりで約 9%、単一システム性能で約 14%向上し、現行最上位機の「CS800L シリーズ」と単一プロセッサ性能で同等の処理性能を実現しています。

「CS4300L シリーズ」は、MCP 環境で稼働する中型機「CS4200L シリーズ」の後継機で、インテル Xeon 10 コア・プロセッサを搭載しています。処理性能は前機種「CS4200L シリーズ」と比較して、単一プロセッサ当たりで約 57%の飛躍的な性能向上を実現しています。

両シリーズ共に、従来機と同様に、企業の基幹システムとして活用できる信頼性と可用性を高めた High Availability (HA) システムで提供しており、既存システムのモダナイゼーションを支援するため、スマートフォンなどのモバイル端末からアクセスを可能とする「ClearPath Portal」を標準搭載しています。また、お客さまの利用形態で選択できるように、従来型の固定性能モデル^(注3)とプロセッサの使用量に応じて課金する従量制モデル^(注4)の2形態で提供します。

「CS6300L シリーズ」と「CS4300L シリーズ」の主な特徴は、以下のとおりです。

■ 「CS6300L シリーズ」

1. Intel Xeon プロセッサ搭載で、CMOS^(注5)プロセッサと同等の処理性能を発揮

これまでハイエンドモデルとして提供してきた「CS600L シリーズ」、「CS700L シリーズ」、「CS800L シリーズ」などは、米ユニシス社独自開発の ClearPath 専用 CMOS プロセッサを採用していました。「CS6300L シリーズ」は、Intel Xeon プロセッサの搭載で、CMOS プロセッサ搭載大型機の処理能力を維持することに成功し、ハードウェア機器の価格性能を大幅に向上改善させています。

2. Intel Xeon プロセッサ上で、従来の CMOS 機との完全互換性を実現

インテルプロセッサの専用ファームウェア上で従来の CMOS 機と完全互換の MCP 環境を実現しているため、CMOS 機を利用していたお客さまのプログラム資産をそのまま継承することが可能です。また、提供プロセッサ性能は最大 96 倍の拡張性を有し、お客さまの必要とする最適な性能モデルの選択が可能です。

■ 「CS4300L シリーズ」

1. 従来機と比較して大幅な性能向上を実現

「CS4300L シリーズ」は、従来の「CS4200L シリーズ」と比較して、単一プロセッサ当たりの性能比較で約 57%向上しています。また、提供プロセッサ性能はシリーズ内で最大 44 倍の拡張性を有し、お客さまの必要とする最適な性能モデルの選択が可能です。

■ 「CS6300L シリーズ」、「CS4300L シリーズ」 共通

1. 高可用性システムの提供とオールインワン構成のハードウェアを提供

お客様のミッションクリティカルな基幹システムに利用するために、本体構成を二重化した High Availability (HA) システムを標準で提供します。さらに、プロセッサやメモリ、I/O チャンネルなど基本モジュールに搭載される機器は、オールインワン方式で提供します。

2. 基幹系システムのモダナイゼーションを実現する「ClearPath Portal」を標準搭載

既存システムのモダナイゼーションを支援する「ClearPath Portal」を両シリーズの基本ハードウェア構成の中に標準で搭載しています。「ClearPath Portal」は、従来の専用端末からしかアクセスできなかった MCP アプリケーションを、ノンプログラミングで Web ブラウザ、モバイル端末、スマートフォン、Web サービスと連携可能にしますので、基幹システムの持つ堅牢な環境の中で Web サービスが提供できるようになります。

今回販売を開始する各機種種の価格は、以下のとおりです。

■ 「CS6300L シリーズ」

最小構成価格 592 万円／月額（ハードウェア、ソフトウェア、保守料金の合計、税別）から。

■ 「CS4300L シリーズ」

最小構成価格 539 万円／月額（ハードウェア、ソフトウェア、保守料金の合計、税別）から。

以上

<Unisys ClearPath Server 製品体系図>

| OS2200 モデル | ローエンドモデル | ミッドレンジモデル | ハイエンドモデル | | |
|---------------|--|--|--|---------------|-------------|
| | CS4250D/CS4270D  | CS4280D CS4290D  | CS860D/CS870D  | Intel® プロセッサー | CMOS プロセッサー |
| MCP モデル | CS460L  | CS4380L / CS4390L / CS6380L / CS6390L  | CS880L/CS890L  | Intel® プロセッサー | CMOS プロセッサー |

<Unisys ClearPath Server CS6300L/CS4300Lシリーズ 外観図>



注 1: MCP(Master Control Program)

Unisys ClearPath Server 用のオペレーティング・システムのことで。

注 2: 10 コア・プロセッサ

1つのソケット上に、10個のコアを搭載しているプロセッサです。

注 3: 固定性能モデル

固定の性能で提供される従来型のモデルです。最低性能は両シリーズ共に 1,215RPM からで、最大性能は CS4300L が 53,460RPM、CS6300L は 116,640RPM まで提供可能です。(RPM とは Relative Performance Measurement の略で米ユニシス社が使用している独自の性能指標です。)性能を增強する手法として、上位の性能モデルにアップグレードすることで恒久的な性能アップを図る手法と、キャパシティ・オン・デマンド機能を活用して一時的に性能をアップする手法があります。

注 4: 従量制モデル

米ユニシス社独自のメータリング技術により、MCP システムのプロセッサ使用量を計測して課金を行うモデルです。提供される性能は、各シリーズの最大性能が提供されるため、MCP システムのプロセッサ性能を必要な時に必要なだけ自由に使うことができます。

注 5: CMOS (Complementary Metal Oxide Semiconductor)

米ユニシス社のオペレーティング・システム(MCP)専用プロセッサです。

※ClearPath は、Unisys Corporation の登録商標です。

※インテル、Intel、Xeon は、米国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。

※その他記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

※関連 URL:

「ClearPath Server」 <http://www.unisys.co.jp/clearpath/>

「CS6300L シリーズ」 <http://www.unisys.co.jp/clearpath/cs6300l/>

「CS6300L シリーズ 仕様」 http://www.unisys.co.jp/PDF/CATALOG/pdf/090001085-0_CS6300L.pdf

「CS4300L シリーズ」 <http://www.unisys.co.jp/clearpath/cs4300l/>

「CS4300L シリーズ 仕様」 http://www.unisys.co.jp/PDF/CATALOG/pdf/090001084-0_CS4300L.pdf

※掲載のニュースリリース情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。